

——『マスカレイド』の振り付けは、どのように覚えたのですか？

シェイ(=リーン・ボーン)から映像を受け取ったのが、ショーの直前だったんです。とにかくひたすら見て覚えて、夜の11時から朝の4時まで、部屋で、ひとりでやっていました(笑)。

——映像を5時間見ただけの状態で、本番を迎えたのですか？

そうですね。振り付けを覚えてから3時間くらい寝て、その日の本番で滑る、という感じでした(笑)。

——『マスカレイド』はメッセージ性も強い曲ですよね。

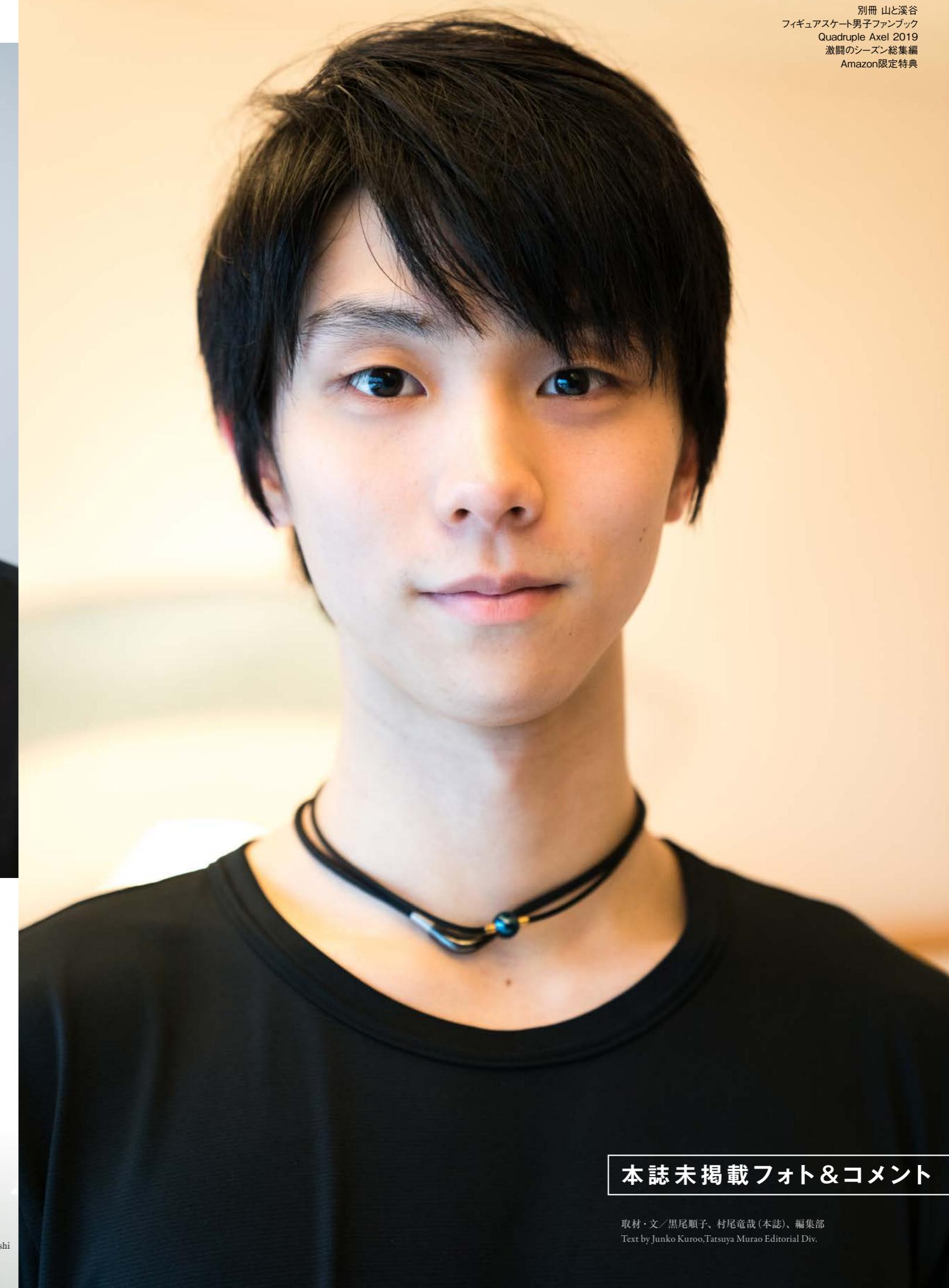
はい。Toshlさんの背景を考えると、ものすごく強いメッセージが込められていると思うので、それをなんとか自分のなかから出したかったんです。でも、独りよがりのものではなくて、Toshlさんの歌の響きにちゃんと包まれた状態で、Toshlさんの心の動きまでも表現しきりたいという気持ちがありました。

# 羽生結弦

Yuzuru Hanyu



Joe Kobashi



## 本誌未掲載フォト&コメント

取材・文／黒尾順子、村尾竜哉(本誌)、編集部  
Text by Junko Kuroo, Tatsuya Murao Editorial Div.

——島田選手は、ステファン先生に叱られることもありますか？

高志郎 叱られるということはないんですけど、僕が何かできないときは、本当に細かく、できるまでじっくりと向き合ってくれます。

ステファン ときどき生徒たちを見ていて、「今日はあまりハードに追い込みたくないムードだな」と感じことがあります。そんなときは、エネルギーが完全に止まってしまっている状態だから、ほんの少しだけ発破をかけてみる。チョン、と押してやるんです。ときには、それが起爆剤になって、そこからうまく回っていくこともあります。

デニス 僕の気持ちが落ちていたときも……。

ステファン ほんの少しだけブッシュしてあげる。その最初のひと押しで、「ああそうか、やれるぞ」となってくることがあるんです。でも、どのタイミングでブッシュしてやつたらいいか、それを知るのはなかなか難しいですね。逆に、そつとしておいたほうがいい、ということもあるわけです。私の恩師である

ピーター・グルッターは、いつも同じ言葉を繰り返していました。「常に、『バランスはどうだろうか』と問いかけることだ」と。どのくらいブッシュするか、どのくらい様子を見るか。絶妙なバランスをとることが大事です。それは人生にも言えることですね。

——コーチングの極意は、ただ家族的だけではないんですね。

ステファン 家族であり、仕事をする仲間であり、すべてですね。大事なのはバランスです。

高志郎 それをピーターから教わったとは知りませんでした。

ステファン そうなんです。彼はいつも「バランスが大事だ」と話していました。フランス語ではそれを「dosage (さじ加減)」と言います。それぞれが、絶妙なさじ加減であること。レシピを完成させるのと同じです。砂糖は多すぎ、塩は少なすぎでは、美味しい料理は完成しません。それぞれを適量入れて、全体が絶妙なバランスになるように。そのためには相当な経験も必要になりますけれど。

Quadruple *Axel* 2019

本誌未掲載フォト&コメント

Deniss Vasiljevs × Stephane Lambiel



# 島田高志郎 × ステファン・ランビエール デニス・ヴァシリエフス





# Quadruple Axel 2019

### 本誌未掲載フォト&コメント

# T a i c h i r o Y a m a k u m a

——全日本選手権のテレビ中継では、ショートの滑走前に、「思いっきり楽しめます！」と林(祐輔)先生に力強く宣言する姿が放送されましたね。

あれ、恥ずかしいんですよ！ いま自分で映像を見返すときは飛ばしてますもん(笑)。でも、あれを言うか言わないかで、メンタル面への影響が大きいな、と後から思いました。声に出て言ったから、「よし、楽しもう！」ってあらためて思え

ましたし。たぶん、林先生は「こいつ相当楽しんでるな」って、だいぶ前から感じていたと思うんですけど(笑)、先生も「よし、行ってこい」って言ってくれたので、すごくよかったです。楽しむことが、いちばん大事だと思っていたので。初出場のシニアの全日本で、自分がどれくらい評価されるかなんてわからなかったから。でも、最終的にトップ10に入れたのは、ついていたなと思います。



——新しいプログラムをつくるとき、ご自身でアイデアを出すほうですか？

そのときによりますね。今季の『ロミジュリ』(フ  
リー)は、ジェフに「何かやりたい曲はある?」つ  
て聞かれて、「『ロミジュリ』のような曲がやりた  
い」と伝えたら、いろいろなバージョンのなかか  
ら、「これならあなたに合うと思うよ」って、あの曲  
(チャイコフスキー作曲)を選んでくれました。

——ほかの選手の演技を観て、「これをやりたいな」と思うこともありますか？

思うこともあるんですけど、その選手の印象が強すぎて、「使えないな」って(笑)。そこまでの滑りができたらいいんですけど……。とか言いながら、けっこう大ちゃん(高橋大輔)が使っていった曲も多いんですけど(笑)。



- 1 -



114

# 友野一希



joe mcdowell

# Yazuki Tomono



Joe Kobash

—ご自身が先輩たちから学んだことを、同世代の選手たちに伝えいく姿勢が素晴らしいですね。全日本のあと、(山隈) 太一朗のことは褒めちぎりましたね。毎年、年々(山本) 草太と太一朗と僕の二人で温泉に行くんですけど、「よかったですよ～！ ありがとう！」って言つて。草太もすごいですよね。練習を見ていても、もう簡単に4回転を跳んでいます。すごい、才能です。

いと思うんですよ。(出身者は) 大ちゃん(高橋大輔)、織田(信成)くん、町田(樹)くん、(田中)刑事くん、僕、(山本) 草太、(山隈太) 太一朗、(須本) 光希……。このなかで全日本ジュニアチャンピオンが7人もいるんです。(臨海を拠点にしていた当時)毎日が本当に充実していました。すごく楽しかったですね。

—仲間といえば、インスタグラムに島田高志郎選手とのツーショット

—今度、ぜひ3人の座談会をお トも上がってきましたね。

頃いします！

いですね！やりたいなあ（笑）！  
ともと草太とよくご飯に行ってた  
んですけど、草太と太一朗もすごく  
仲がいいので、3人でご飯に行って  
います（笑）。僕たちは、臨海（ス  
ーパーツセンター）で、ずっと一緒に  
練習していたので。臨海って、すご

Ryujin Hino

——邦和スポーツランドでの「氷上員」のアルバイトは、どんなことをするのですか？

危険がないようにリンクのパトロールをしたり、「なんでも聞いてください」と書いたボードを首から下げてリンクを周回しながら、お客様にアドバイスをしたりします。たとえば、初心者の方に、「うまく進めないんですけど、どうすればいいですか?」と聞かれたときは、「まずは氷の上を歩いてみましょう」と言って、少しづつ足を前に出してもらうようにして、だんだん一歩の距離が延びるようにアドバイスしたりします。

# 日野龍樹



Joe Kobashi

Hiroaki Sato



Joe Kobashi

Quadruple Axel 2019  
本誌未掲載フォト&コメント

——スケートの費用を補うために、アルバイトをされているとか？  
家庭教師をしていて、もう4年くらい同じ生徒を見ています。すごくいい子で、勉強を教えるのも面白くて、毎回発見があるんですよ。逆にお金をもらうのが申し訳ないくらい、一緒に勉強しながら楽しんでいます。だから、働いているという感覚があまりないんですけど(笑)。家庭教師のアルバイトもできるかぎり続けて、その子が最後までやり遂げる姿を見届けたいなって思っています。

Jun Suzuki



Tatsuya Murao

# 鈴木潤



Tatsuya Murao

# 佐藤光彬



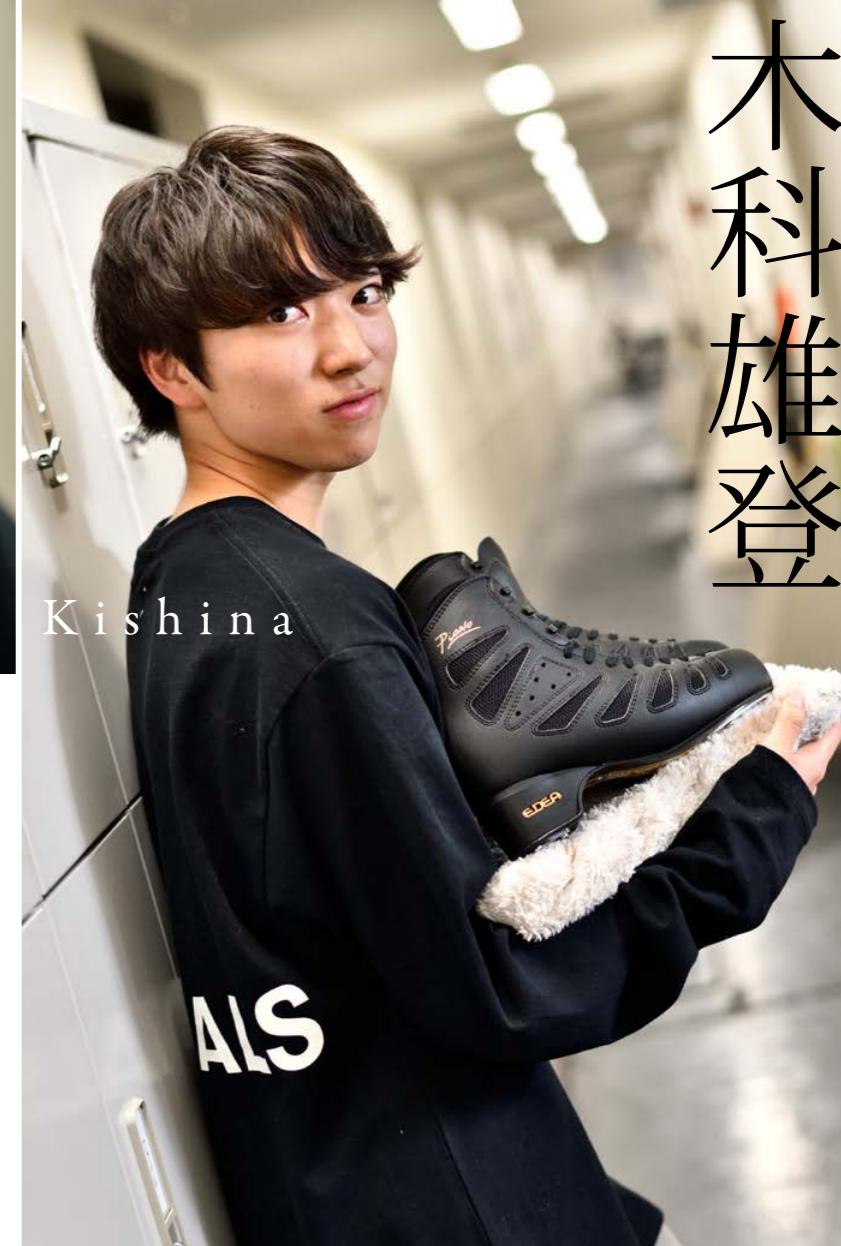
Masahito Kubota

——佐藤選手は読書が趣味だとお聞きしました。どんな小説を読むのですか？  
僕がいちばん好きな作家は西尾維新さんで、小学生のころから読んでいます。言葉の使い方や言いまわしに特徴があって、初めて読む人には難解というか、読みづらいかもしれませんのが、楽しい作品が多くて、僕は昔から大好きです。あとは、父親が赤川次郎さんのファンなので、僕も借りて読んだりしますね。『シャーロック・ホームズ』とか、海外のミステリ作品も読んでみたいと思っているんですけど、まだ手を出せていないので、時間ができたら読みたいです。

# 須本光希



# Mitsuki Sumoto



——今シーズンは、エキシビションナンバーもつくれたんですね。イマジン・ドラゴンズの『ナチュラル』という、有名な洋楽の曲で、キャシー（・リード）先生に振り付けていただきました。けっこうダンスをするパートがあって、楽しかったです（笑）。僕は、あまり踊るイメージがないと思うので、初めての挑戦という感じです。曲はいくつかの候補のなかから自分で選びました。エキシビションナンバーは、以前、（キム・）ジンソにつくってもらつた『さくら』があるんですけど、あまりお披露目する機会がなかったので（笑）、今回はたくさん滑れたらいいなと思っています。

# 木科雄登



S e n a M i y a k e



三宅星南

# Quadruple *Axel* 2019

### 本誌未掲載フォト&コメント

——〈コヅカブレード〉を最初に履いたときの印象は?

——〈コヅカブレード〉を最初に履いたときの印象は?

自分に合うかどうか心配だったんですけど、履いてみてすぐに「いいエッジだなあ」って感じました。(木科) 雄登も使っていて、「滑りやすい」と言っていたし、「あまりエッジを頻繁に研がなくても大丈夫」と聞きました。

——ブレードは以前、〈パターン

99) の“レボリューション”を試したことがありましたね。

はい、あのときは体重が軽かったので、エッジを軽いものにしたら、滑りに安定感がなくなってしまったんです。〈コヅカブレード〉もほかのエッジに比べると軽いんですけど、いまは身長も伸びて、体重も増えてきたので、すごく扱いやすいなと感じています。



Sota Yamamoto × Tatsuya Tsuboi



Keiji Tanaka × Kaori Sakamoto

坂本  
花織

田中  
刑事



Shun Sato × Yuma Kagiya × Kao Miura

壺井  
達也

山本  
草太



Joe Kobashi

Quadruple Axel 2019  
本誌未掲載フォト

鍵山  
優真

佐藤  
駿

三浦  
佳生



Joe Kobashi



Joe Kobashi